



育連だより



<https://web-k.jp/ikuren/new/>

ボーイスカウトの活動

日本ボーイスカウト川崎地区協議会 井上 景
スカウト支援委員会 副委員長兼スカウト担当者

●第49期白梅隊

2021年11月13～14日、第49期白梅隊の一泊ハイキングが実施され、25名が参加しました。この白梅隊は、ボーイスカウト川崎地区が主催するボーイスカウト(中学生年代)が対象の合同プログラムです。

当初、7月31日～8月1日に第1回目の集会を行い、9月にメインとなる一泊ハイキングを実施する予定でしたが、コロナウイルスの感染拡大に伴い、大幅に予定を変更することとなりました。

変更後は8月1日に対面で集会を行ったあと、Webでの集会やロープワークの集会を経て、約1ヶ月遅れでハイキングを実施しました。

一泊ハイキングは、初日に元箱根をスタート。

芦ノ湖の西側の外輪山を半周し、湖尻でテント泊。翌日は早朝から金時山を目指し、乙女峠経由で御殿場へ。全行程約33km。参加者たちはテントや食料などの一泊の荷物を持ってすべての行程を歩きました。天候には恵まれたものの、予定変更で想像以上に夜の気温が下がったり、集合時にバスが故障したり…と、細かいトラブルは多くありました。

コロナの影響を大きく受けてしまいましたが、プログラム自体は無事に終了。参加者たちは、普段の活動では経験できない体験ができたのではないのでしょうか。関係スタッフのみなさんご協力ありがとうございました。



●GATC川崎27期

2021年9月～2022年3月にかけて、GATC(ゴールデン アックス トレーニングコース)川崎27期のプログラムが展開され、27名のスカウトたちが参加しました。

GATCはベンチャースカウト(高校生年代)を対象とし、隔年で行われるプログラム。普段は別に活動する各団のスカウトが集まって隊を編成し、約半年にわたってさまざまなプログラムを展開します。

このGATC川崎27期は、2021年9月5日からスタート。当初からコロナの影響を受け、Webで

の集会から開始しました。その後、チームビルドを目的とした研修「プロジェクトアドベンチャー」、夜から朝にかけて行うハイキング「オーバーナイトハイキング(小田原→沼津)」、大型の橋づくり「パイオニアリング」などのプログラムを実施。3月にプログラムを終了しました。

当初は、川崎地区の70周年記念式典の運営にも携わる予定でしたが、式典自体が中止に。それ以外にも日程の変更や規模の縮小など、コロナの影響を大きく受け、予定通りとは行かなかったものの、次につながる内容となったのではないのでしょうか。



コロナ禍でもできること

コロナ禍による活動規制や自粛が今年もまだ続いているようですが、そんな中でもできることをジュニア自身で考えて見つけて活動をしています。

一番よかったなと思うことは、オンライン会議です。コロナが蔓延していて定例会が何度も中止になってしまったときに、たんぽぽメンバーから「Zoomやオンラインで会議がしたいです！」と申し出がありました。学校の授業もオンラインで実施されていたこともあり、すぐに実施しました。



久しぶりに顔を合わせたの会議に大いに盛り上がりました。オンラインでのメンバーは自宅にいるせいかリラックスした様子で、いつになく意見がたくさん出た気がします。

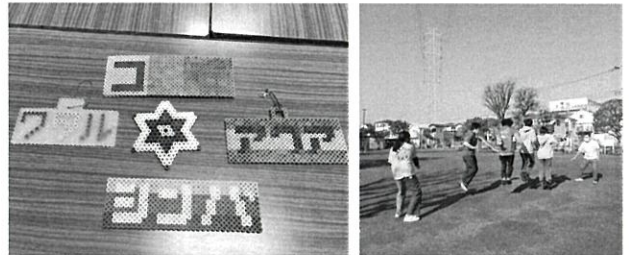
また、子ども会の行事の多くが中止となっただけでなく、ジュニアとしても活動ができませんでした。

そんな時、川崎区のJLCくじらと合同で研修会を開催しました。名付けて「南部会」!! もちろんマスク着用・検温・消毒・換気・ソーシャルディ

幸区子ども会連合会 川喜田 智子

スタンスの徹底をしながらの実施でした。

また、単会からクリスマス会へのお手伝いの要請を受けた時にも、「蔓延防止に十分注意する」ということをしっかりと守り、参加させてもらいました。



もちろん行事に参加することに心配はあります。ですが、ジュニアメンバーたちの「やりたい!」「たんぽぽとして、ジュニアとして活動したい!」という気持ちも大事にしたいです。もちろんやりたいからと言って、なんでもやってもいいよとはなりません。(笑)

コロナ禍で活動できることが少ないですが、メンバーたちが「みんなと会いたい。」「ジュニアとして活動したい。」とってくれることがとてもうれしいです。また、ジュニアとして活動できる喜びを感じてくれていることが、とてもうれしいです。また、マスクなしでみんなと活動できる日を楽しみにしています。

コロナ禍の作品展

子ども会の作品展は令和3年度で第55回を数える伝統行事です。夏に作品の募集を始め、1月後半に「各区の作品展」を開催し、そこでの入賞作品を「川崎市子ども会連盟作品展」に出品します。例年は、とどろきアリーナで展示会を行います。メインアリーナの周囲に書道作品約250本を飾り付けた様子は圧巻の迫力です。しかしながら、その開催は新型コロナのために2年続きで見送られました。子どもたちの頑張りを多くの皆さんにご披露できないのは残念でなりません。

1月29日、高津地区での作品展表彰式は、感染



鈴木高津区長から
賞状を受け取る入賞者
区長を見つめるまっすぐな眼差し

者が急増する中でしたが密を避け、短時間で行えるよう運営の見直しを行



高津区子ども会連合会 須藤 かわり

い実施しました。開催にこだわったのは、学校や子ども会行事の中止が続き、日々制約の中で暮らす子どもたちを応援したいという思いがあったからです。名前を呼ばれ賞状を受け取る子どもたちの笑顔、はにかむ姿、誇らしく自信に満ちた表情を目の当たりにし、開催できてよかったと思いました。

今後も、役員総出で安心安全を確保しながら、子どもたちの活躍の場をつくっていきたいです。

【高津市民館 11階

ウォールギャラリー展示】

高津地区作品展：2022年1月21日～28日

橘地区作品展：2022年1月29日～2月2日



賞状を高く掲げ
喜びいっぱいの入賞者たち

ガールスカウトの活動

ガールスカウト川崎市連絡会

コロナ禍で大きなイベントはできませんでしたが、各団色々工夫して今年度も活動しました。

【14団】

8月のガールスカウトの集会で夏祭りを開催しました。コロナ禍なので、密にならないようジュニア・シニアで店の配置を考えたり、景品に持ち帰りができるお菓子を用意しました。工夫をこらし、とても楽しい夏祭りになりました。



【31団】

12月5日に年末たすけあい募金の活動を致しました。コロナ禍の募金活動で大きな声を出せないため、PRのポスターを作ったり、のぼり旗を作って街頭に立ちました。初めて経験したスカウトも先輩スカウトと一緒に寒中、頑張りました。



【40団】

コロナ禍で出来ることを考え、6月、黒川青少年野外活動センターで1泊を行いました。ジュニア以上はテント訓練をしたり、ブラウニーも野外で思いっきり体を動かしました。「同じ釜の飯」というわけにはいかない今の状況で、野外炊事も工夫して楽しむことができ、意外とやれることはあるのだと感じました。



【48団】

私は、町たんけんがたくさん自然を見るのがとても楽しかったです。とくに、お気に入りなのは春と秋の町たんけんです。

【17団】

東京オリンピック・パラリンピックに合わせて、オリンピック・パラリンピックについての集会を行いました。

歴史やシンボルマーク等を調べたり、開会式でも話題となったピクトグラムのカルタをやったりと楽しく学びました。



また、実際にパラリンピック競技のボッチャとゴールボールを体験しました。一投ごとに一喜一憂し、大盛り上がりの集会となりました。

【32団】

新年集会で、カルタ取りをしました。SDGsと防災についての2種類。ソーシャルディスタンスを考えて、2つにチーム分け。対面壁際の机に並べた取り札を、チームから1人ずつが取りに行く方式。ダッシュで駆け出したり、ジュニアスカウトがテンダーフットに、取り札を譲ってあげたり、勉強しながら、みんなで楽しみました。



春は、たくさんの花がさき、色とりどりでゆったりできる町たんけんです。秋は、どのはっぱも赤や黄色に色をそめ、風がふいてもにぎやかな町たんけんです。

だけど、ほかの季節もそれぞれ色々なみりょくがあるので、私は、どの季節の町たんけんも大好きです。たとえば、冬の町たんけんは、色とりどりでなくても、冬らしい花を見たり、そんな所がすきです。だから、これからも、それぞれの季節のいい所を見つけて行きたいです。 國井丹香

ロープワーク：本結び

川崎海洋少年団 山 岡 修

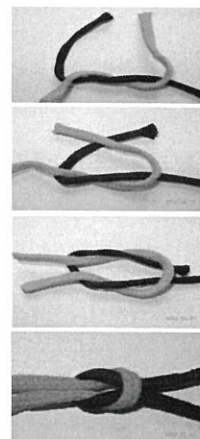
ロープワークは、ヨットやカッターなど船舶の係留などに活用するため海洋少年団の基本訓練のひとつとして学んでいます。ロープワークは、結ぶときは簡単に結べて、結んだ後は緩んだりほどけたりすることがなく、またほどくときには簡単にほどけることが特徴で、日常生活にもいろいろな場面でロープワークが応用できるため、簡単に日常的に使える結び方をご紹介します。

普通に雑誌や新聞紙などを束ねてまとめるときにロープを使って結びますが、シンプルに結べるのが「本結び」と呼ばれる結び方です。

まずは本結びの形を覚えましょう。結び目の輪から2本ロープが伸びていて上下が同じ形になっていて対象です。結び方は、2回結べば完成しますが、1回目の結び方と2回目の結び方は逆になります。気を付けることは、2回目のねじりが逆になることです。

本結びは同じ太さや材質のロープ同士をつなぐのに適していますが、滑りやすい人工繊維などのロープには不向きな結び方です。

本結びは、風呂敷を結ぶとき、三角巾を使った応急手当のとき、着物の帯留めなどに活用されています。結び方に名前があるとは知らずに生活していく中で身に付けた、ほどけにくい結び方ではないでしょうか。



春 中高校生リーダー研修会

● **テーマ：リベンジャーズ**
～絆深めんのにひよってるやついる?～

● **プログラム**
アイスブレイク 手旗信号 クルミボタンアート
結策ボード 体を動かすゲーム 茶立て

令和4年3月21日、子ども会、ガールスカウト、ボーイスカウト、海洋少年団の4団体での研修会を川崎市青少年の家で開催しました。実行委員たちは10月から6回の委員会を重ねて意見を交わしながらこの日の企画を練り上げました。

コロナ感染防止に配慮しながら、総勢33名でプログラムももりだくさんの充実した4団体交流の一日になりました。「他の団体の人と話せてよかった。一日有意義で楽しかった。」との声が多く聞かれました。



来賓と一緒にアイスブレイク



マスクの下は笑顔で全員集合



難しけど面白い手旗信号



かわゆいでしょ!
クルミボタンアート



開会式



結策ボード
ロープ使いが実用的で
驚いた



真剣に上品に茶立て
ちょっと苦いかな

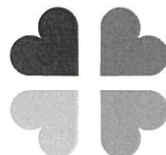


久々に体を動かした 運動ゲーム

育成連盟ホームページをリニューアルしました! 2022年春公開

スマホ時代に対応するために、モバイルフレンドリーな構成のホームページにリニューアルしました。また、育成連盟の幅広い状況(活動)をいつでも参照できるように、これまでの広報書誌紙面をPDFにして掲載しました。あわせて、育成連盟のロゴを新調いたしました。URLは今までのものに「s」と「new」がつけます。<https://web-k.jp/ikuren/new/>

川崎市子ども会連盟
ガールスカウト川崎市連絡会



ボーイスカウト川崎地区協議会
川崎海洋少年団

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館(てくのかわさき)3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社